

令和2年度 第3回 大阪府立難波支援学校 学校運営協議会

1. 期日 令和3年3月10日(水)

2. 内容

- (1) 学校経営計画
- (2) 学校教育自己診断
- (3) その他

3. 協議内容

学校経営計画について(各委員からの主な意見)

- ・子どもたちの安心安全のため、環境を整えることは最重要課題であり、本校も老朽化がすすんでいるので、その点においても整備の充実を図っていただきたい。
- ・コロナ対策とともに、先日、東日本で再び地震があったように、災害に対する対策も引き続き取り組んでいただきたい。
- ・保護者がコロナ禍で、学校で直接見られない情報をホームページから得ようとしているのを感じる。経営計画にも掲げているように、子どもたちの授業の様子や取り組みなど、保護者の知りたい情報の発信をしていただきたい。
- ・令和2年度について
地域をはじめ校外での活動が制限される中、校内の取り組みを充実させる工夫がなされ、大きく目標を上回るすばらしい実践がなされている。
- ・令和3年度について
 - 1 中期的目標1.(1)(3)について
令和2年度の課題をあえてあげればキャリア教育の観点からの一貫性とアセスメントではないか。「具体的な取組」にある「本校の～マトリクスを基に」「確認できるシステム」とはどのようなものが明らかにしたい。
 - 2 中期的目標に防災計画、開かれた学校づくりの文言がなくなっている理由は何か。
 - 3 中期的目標(2)「シラバスの～授業改善につなげる。」が本年度の取り組みにはないが、令和3年度シラバスは今年度の重点目標として扱わないということか。

- ・令和2・3年度の学校経営計画及び学校評価について
 - 1 子どもの将来をみすえた教育活動の充実については、令和2年度と大きな変更はなく、継続的な取り組みをされることでの積み上げがなされていくと思う。特に、学校行事を見直す中で、児童生徒が主体となっているかとの観点から再検討をされることは、たいへん重要だと感じる。
 - 2 安心安全な教育環境の整備では、新しく、コロナ対策を盛り込まれており、今後の対応が長引くことが想定される中で適切な対応だと思う。コロナ対策については、まだまだ予断を許さない状況であり、状況を注視することが大切だと思う。
 - 3 保護者・地域・関係諸機関との連携では、保護者や地域のニーズを掘り下げるということは障がい者理解を地域に根ざしていくうえで大切なことだと感じる。また、保護者の困り感に寄り添うことは、大切であり、なかなか困難なことだとも思う。できないこともやろうとする意志を、感じてもらえる教育を進めていただければと思う。
 - 4 教職員の専門性とチーム力の向上では、学校の様子や取り組みを多くの方に知っていただくために、HPなどを活用することは大切だと思う。そのためには、工夫をして、見たいホームページを作成するなどの工夫が必要だと思う。

- ・児童生徒の個性、発達段階を的確に見極め、保護者とともに可能性を伸ばす教育を推進されることがよく伝わってくる学校経営計画だと思う。

- ・コロナ禍のなか、環境づくりや行事などたいへんだったと思う。来年度もまだまだ難しい場面があるかと思うが、子どもたちの自立のため、よろしくお願ひしたい。

学校教育自己診断について（各委員からの主な意見）

- ・今年度はコロナ禍の中で、学校の取り組みを、授業内容にしても、PTA活動にしても保護者の方に伝えていくことが難しい状況であったと思う。
- ・全体的に「わからない」、「不明」の回答が多いが、保護者のホームページの関心が高いことをふまえて、いろいろなことを発信していくことで、否定的な回答は減るのではないかと思う。

- ・「ホームページをよく見る」が大きく上昇したのは、内容と周知がうまくいっているからだと思う。保護者が知りたい情報が掲載されたら必然

的に見る方は更に増えると思う。

- ・「学校運営に教職員の意見が反映されている」の肯定が、91%は素晴らしいと思う。現場の意見の反映が、直接教育現場の問題の改善となり、充実につながっていくと思う。
- ・保護者、児童生徒、教職員それぞれで前年度から大きく評価が改善したものがあり、ここでも今年度素晴らしい実践がなされたことがわかる。特に、個別の指導計画等の活用、ホームページへの関心や利用、進路に関する情報提供など、どれも保護者の評価を高めることが難しい項目で、大きな改善をされていて素晴らしい。
このようなよい評価を得られたことを教職員の皆さん全体で喜びながら、今後も授業研究に励むとともに少数意見を大切に丁寧な実践を続けてもらいたいと思う。
- ・保護者からの回答では、子どもが学校に行くことで、教育の成果を肯定的にとらえていただいていることに、学校の努力が見えるように思う。また、学校に対する信頼感も肯定的にとらえている保護者が多いことは、たいへん重要だと感じる。学校の状況をHPで知ることが多いというのは、学校としての発信力が強いということであり、関心を持ってもらっていることに安心を覚えた。こうした保護者の方々のご意見は、私たち学校運営協議会委員としても、保護者ニーズを想定しながら、学校の取り組みに協力していかねばならないということも、改めて感じた。教職員の方々も、コロナ対応など新しい課題が出るたびに、学校の対応を求められ、難しい時代になっているが、先生方の笑顔で助かる保護者が多いことをぜひ、心にとめていただきたいと思います。
- ・ホームページの情報量が他校と比べてもとても多く、内容も充実していることが保護者アンケートの「ホームページをよく見る」のポイントが大きく上昇したことに繋がったと思う。今後も豊かな情報発信をお願いしたい。
- ・アンケートは、保護者も難しいのかと思うなか、69%の回答率は、かなりのご苦勞があったと思う。肯定的な意見が多いというのは、学校の運営に対しての支持・評価の表れだと思う。

その他（各委員からの主な意見）

- ・ ホームページだが、保護者に「ホームページでどんな情報が知りたいですか？」など、ストレートに保護者のニーズを聞くのも向上につながるかもしれない。
- ・ 校長先生はじめ、教職員の皆様、令和2年度も無事終わられることを心より願っている。来年度も、コロナへの対応は当分続くようであるが、難波支援学校の児童生徒が、いつも明るく元気に生活していただけるように、まず、先生方には、お体をご自愛いただき、新しい年度をお迎えいただくよう、心より願っている。
- ・ コロナ感染防止対策にご尽力された一年だったと思う。感覚過敏からマスク着用が困難な生徒もいるのではないかと思うが、感染防止対策の入り口でもあるマスク着用については、できないからと諦めずに、家庭でも学校でもチャレンジを続けていただきたい。
- ・ 来年度もたいへんだと思うが、子どもたちのため、がんばっていただきたい。